

2020年3月期 決算説明会

アステリア株式会社 (東証一部:3853)

2019年8月9日
(2019年8月8日開示)



3853

会社概要

2019年6月30日現在

- ✓ 市場 東証一部上場 (3853)
- ✓ 設立 1998年9月
- ✓ 事業 「つなぐ」ソフトウェアの開発・販売とDXを実現する戦略デザインコンサルティング

英国

● London

中国

Hangzhou
Shanghai
Hong Kong

日本

Tokyo x 2
Osaka

Seattle, WA

● 米国

● Plano, TX

シンガポール

● Singapore



代表取締役
執行役員社長/CEO
平野 洋一郎

- ✓ 資本金 22億7,534万円
- ✓ 従業員数 129名 (連結)

決算ハイライト

2020年3月期 第1四半期決算

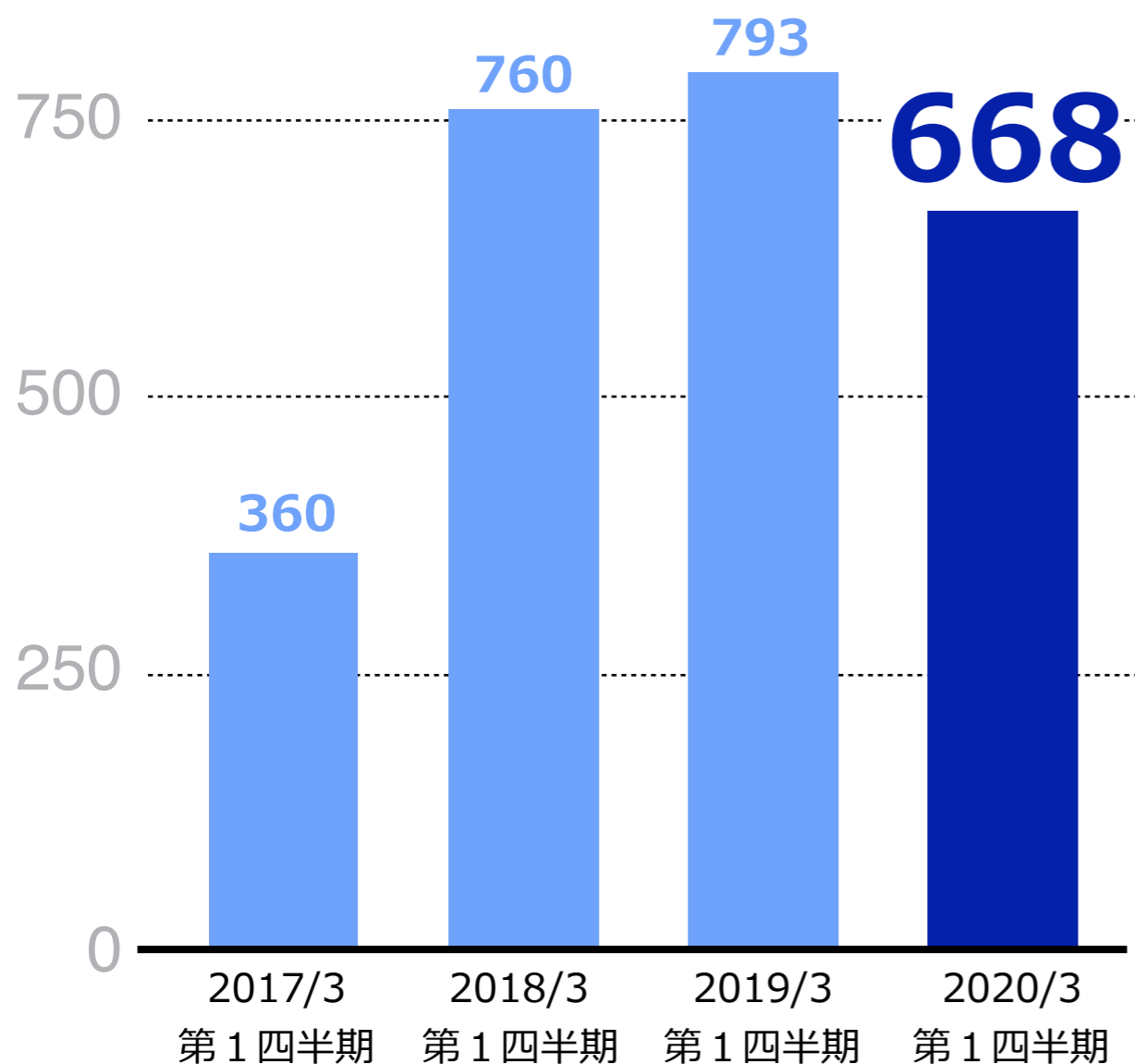
(国際会計基準 = IFRS)

減収減益

- ✓ 売上収益：前期比 **15.8%減**
- ✓ 営業利益：収益減の影響で四半期赤字
- ✓ 当期利益：収益減の影響で四半期赤字

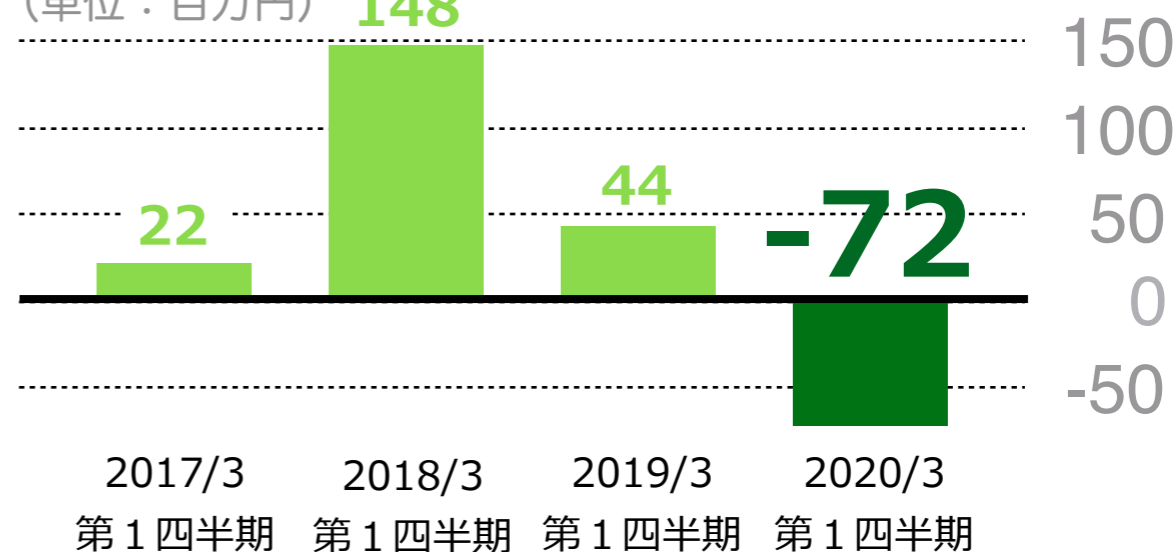
売上収益推移

(単位：百万円)



営業利益推移

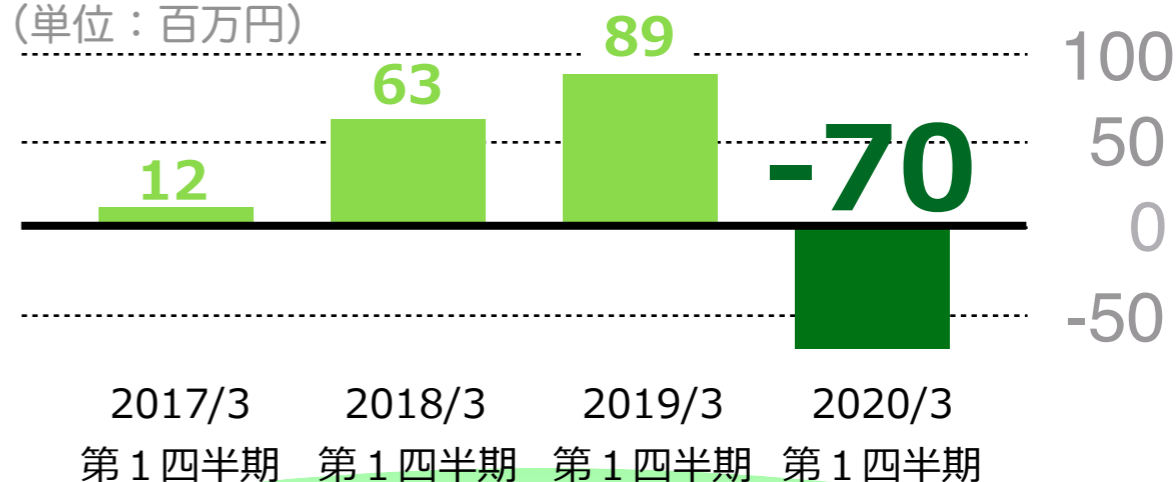
(単位：百万円)



当期利益推移

(親会社の所有者に帰属する)

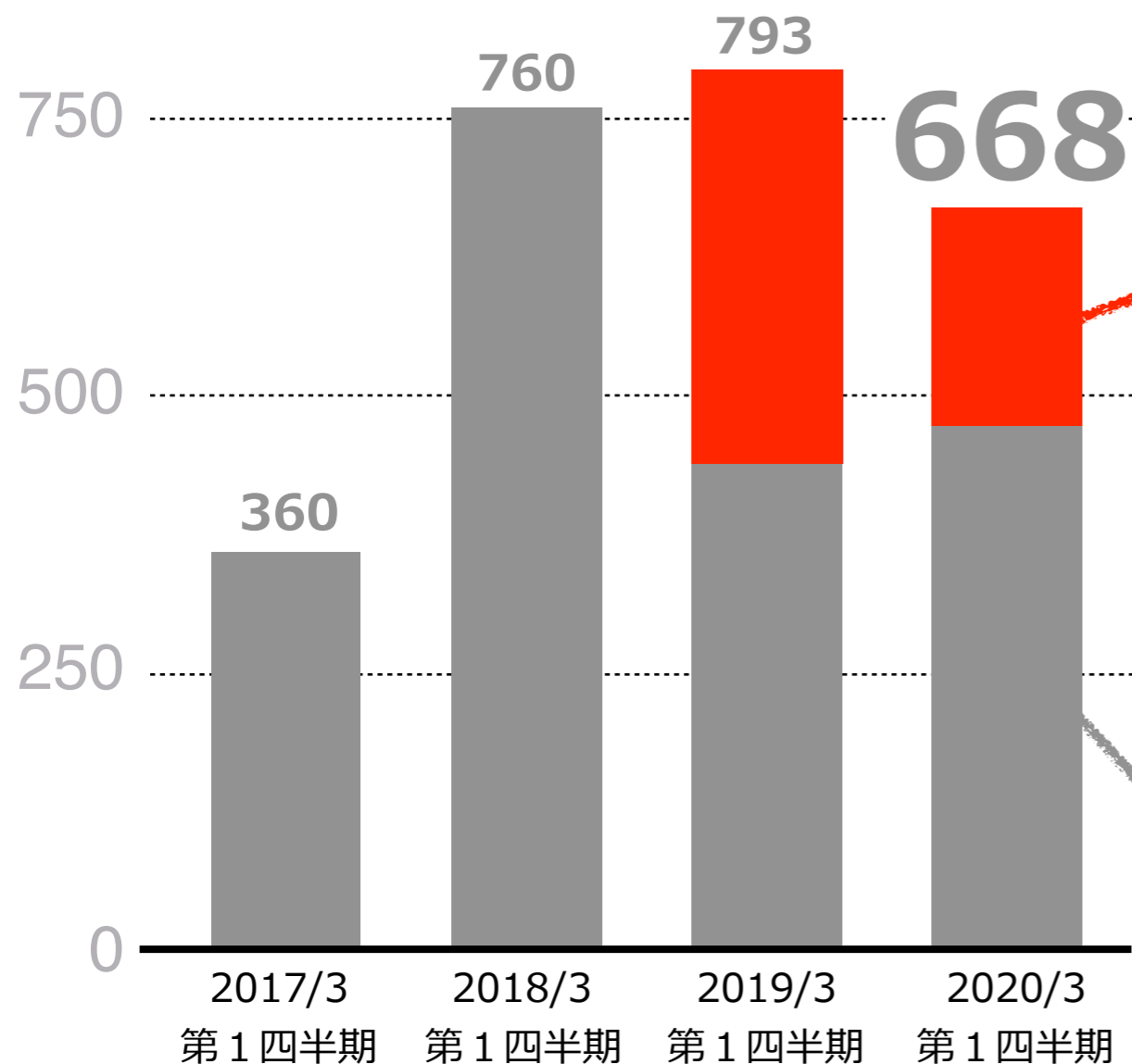
(単位：百万円)



減収要因

売上収益推移

(単位：百万円)



① デザインサービス

が減少

前期比 52.6%

- ・米国の重要顧客2社に関してプロジェクトが大きく遅延

② エンタープライズ、ネットサービスの増加分でもカバーできず

エンタープライズ：前期比 113.5%
ネットサービス：前期比 106.5%

決算概要

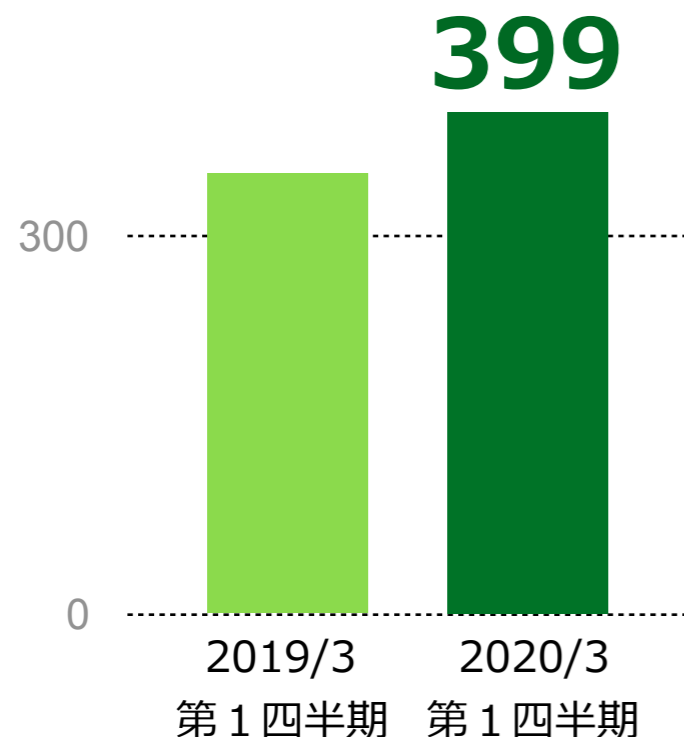
2020年3月期 第1四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

ビジネスユニット別売上収益推移

エンタープライズ

前期比 **113.5%**

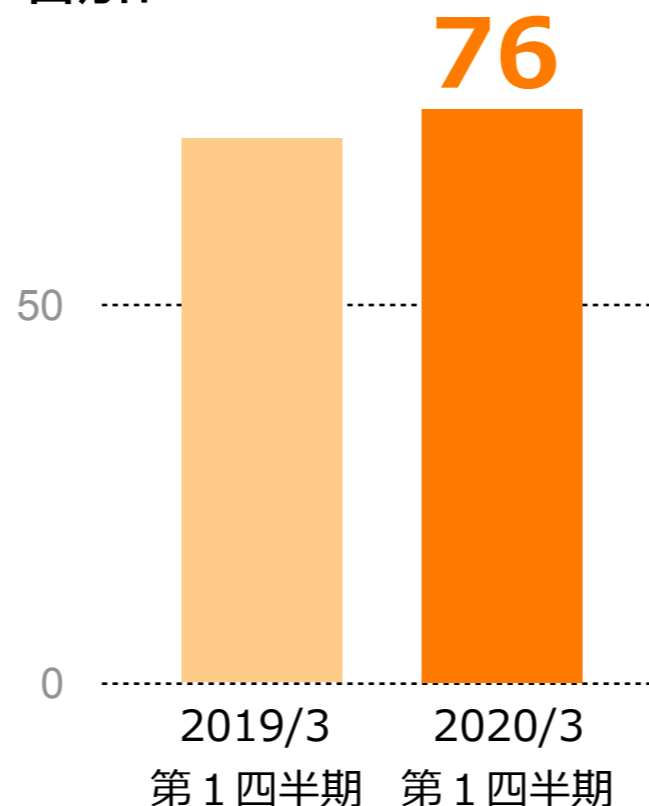
- ✓ 主力**ASTERIA Warp**の導入社数は**7,977**社に増加



ネットサービス

前期比 **106.5%**

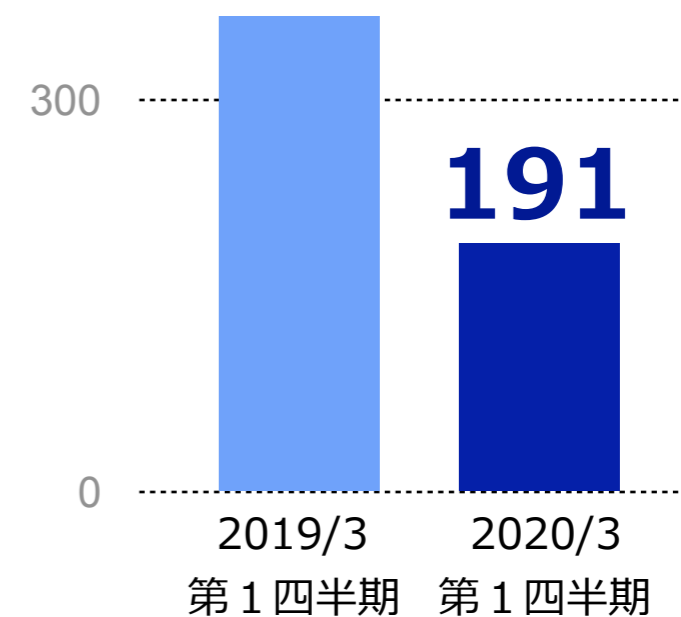
- ✓ **Handbook**の導入件数は、**1,527**件に増加



デザインサービス

前期比 **52.6%**

- ✓ 米国の2つの重要顧客の経営環境の影響を受け大幅な減収

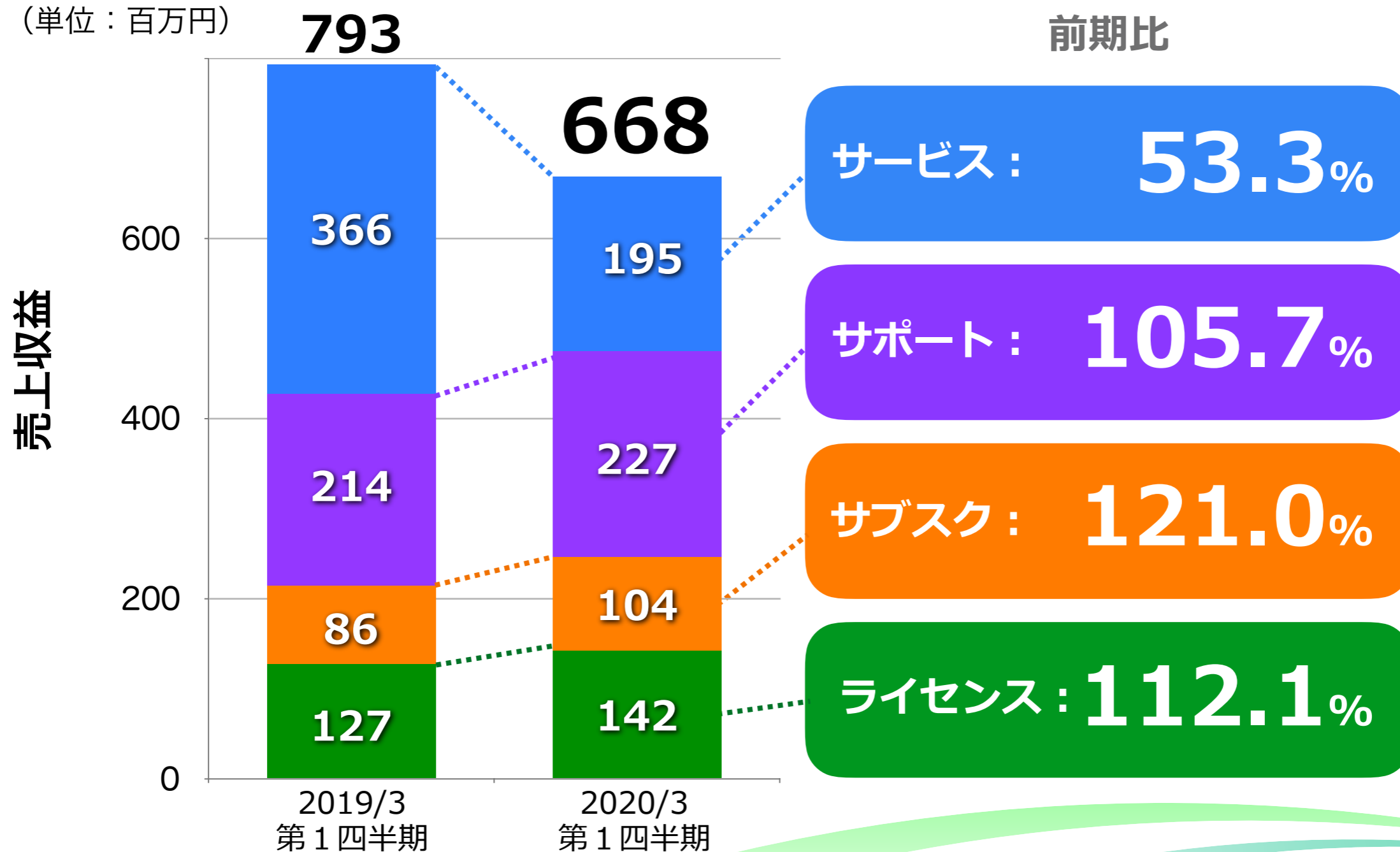


■ 主要3ビジネスユニット合計の全売上収益に占める割合は99.8%

売上区分（タイプ）別売上収益推移

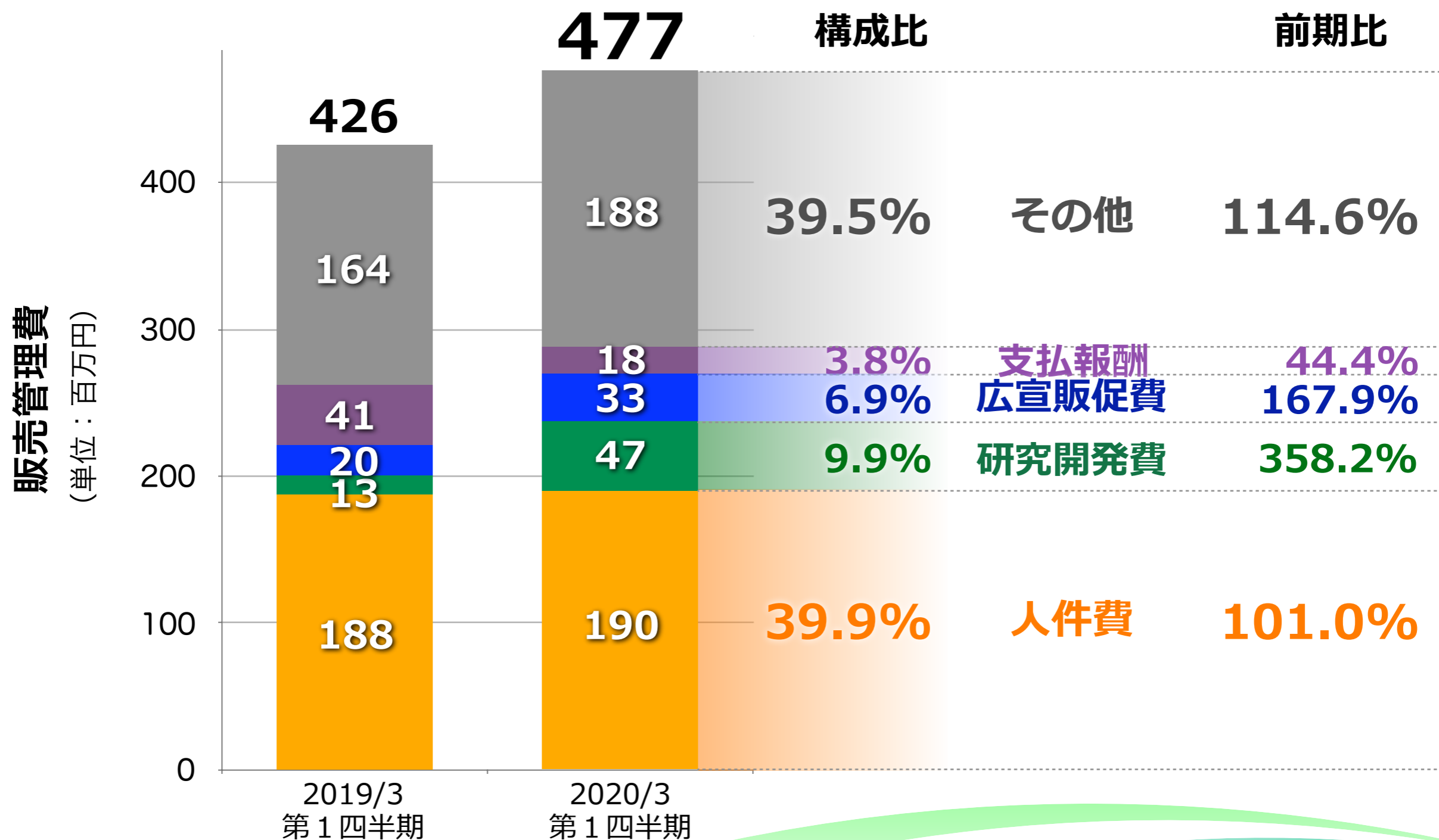
- 「サービス」はデザインサービスの落ち込みで一時的に大幅減。
- 「ライセンス」と「サブスク」は、いずれも2桁増。

(単位：百万円)



販売管理費の推移と内訳

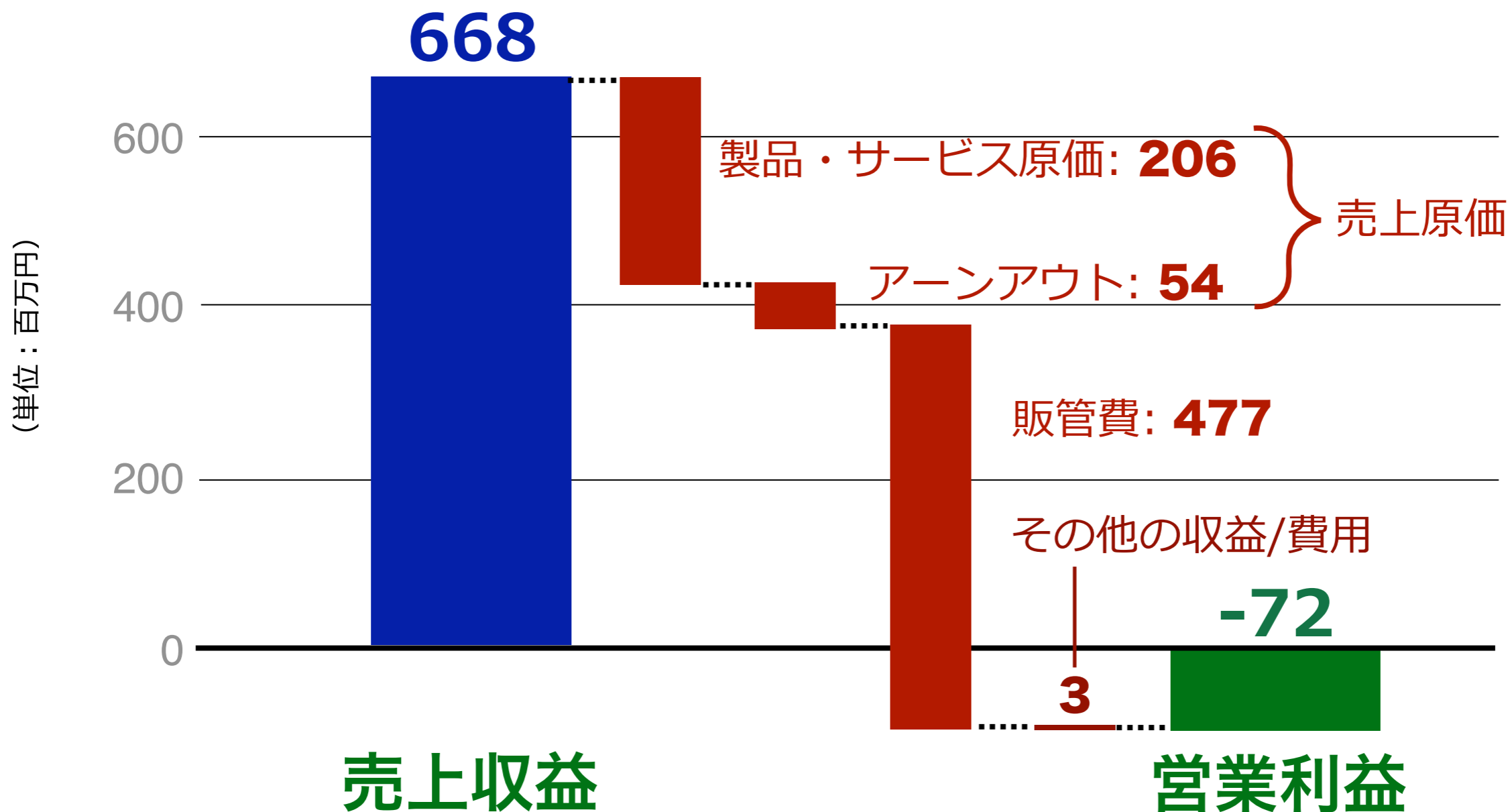
- 新製品の出荷に伴い広宣販促費と研究開発費が増加。
- デザインサービスの減収に伴い人件費増を抑制。



売上収益から営業利益までの内訳

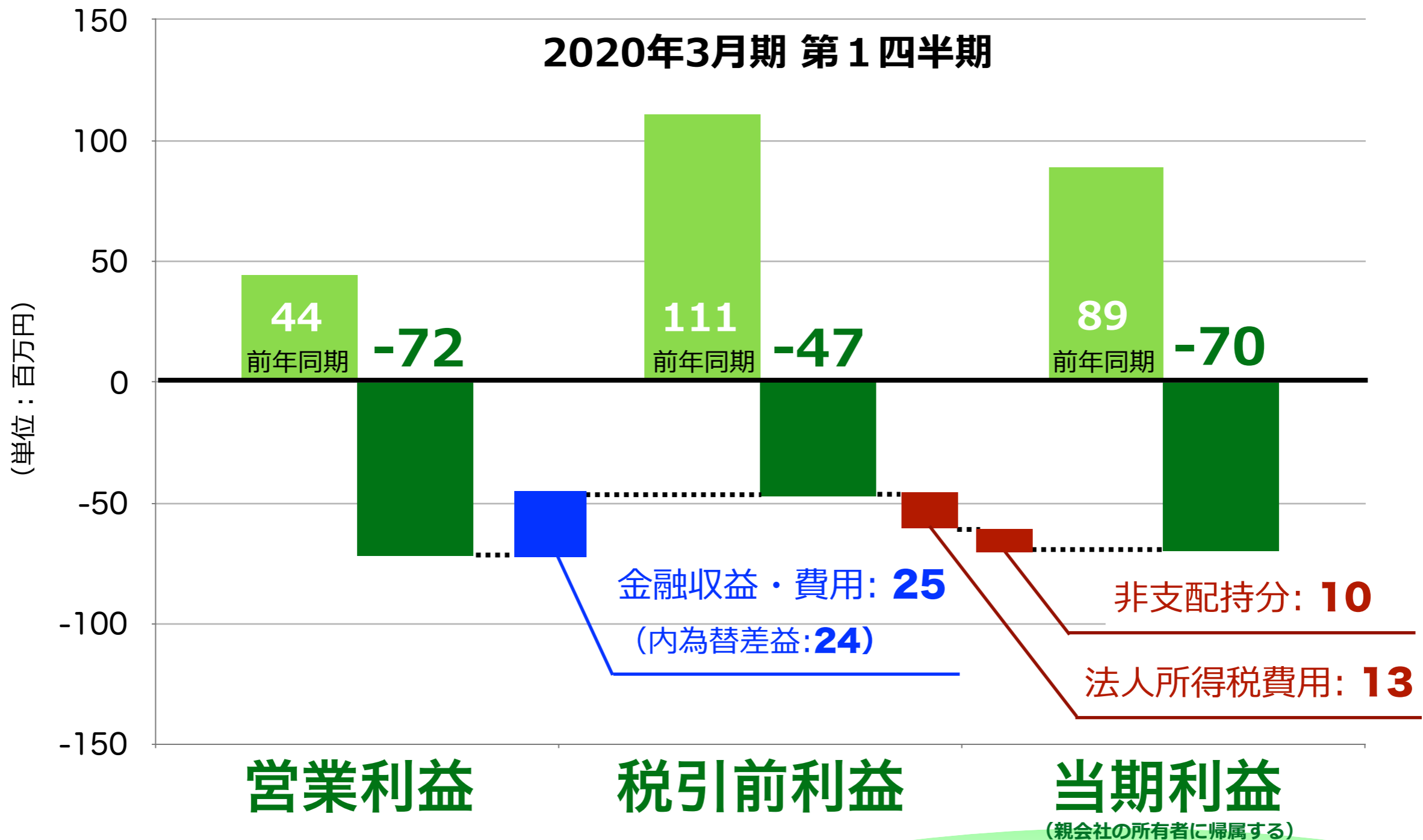
- デザインサービスの収益減により、売上収益、営業利益共に減少。

2020年3月期 第1四半期

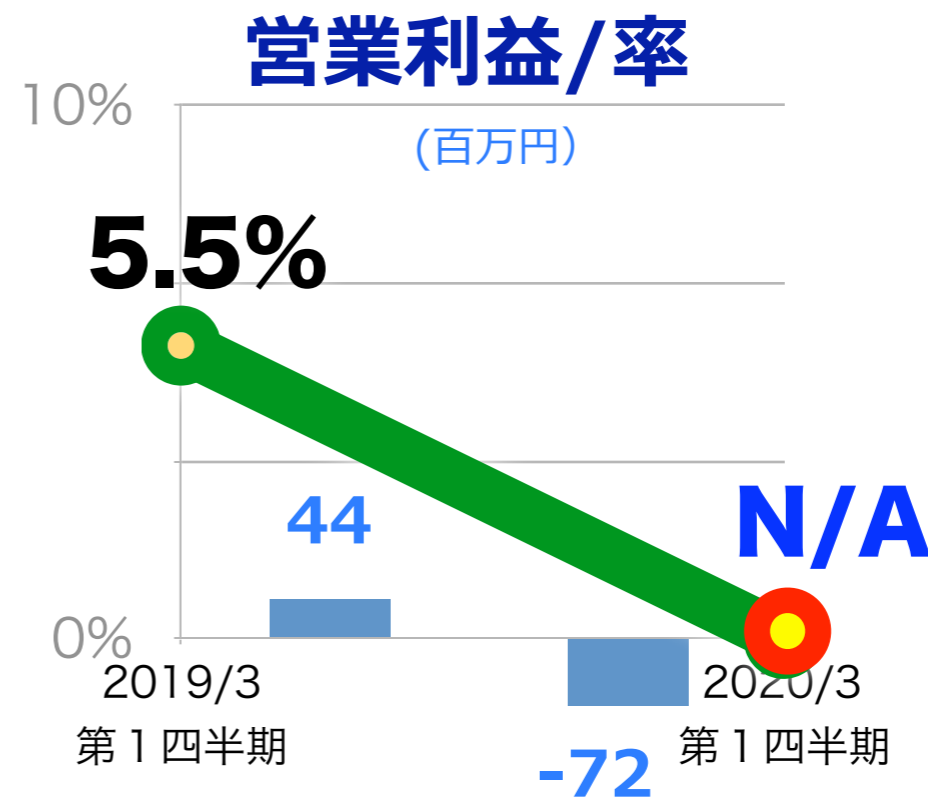
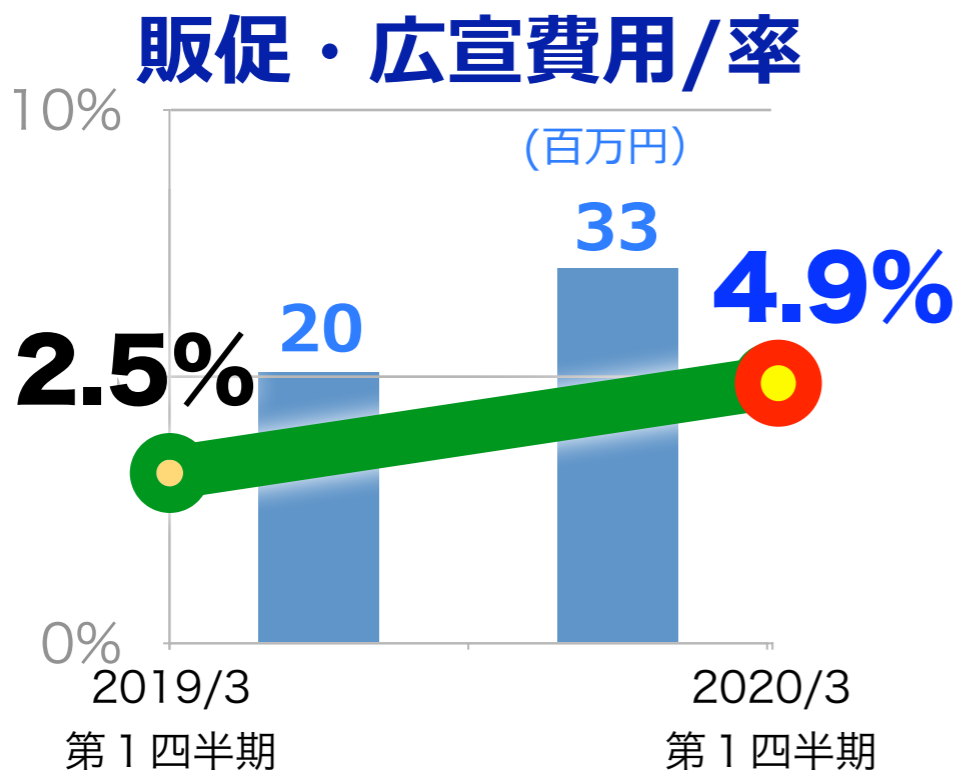
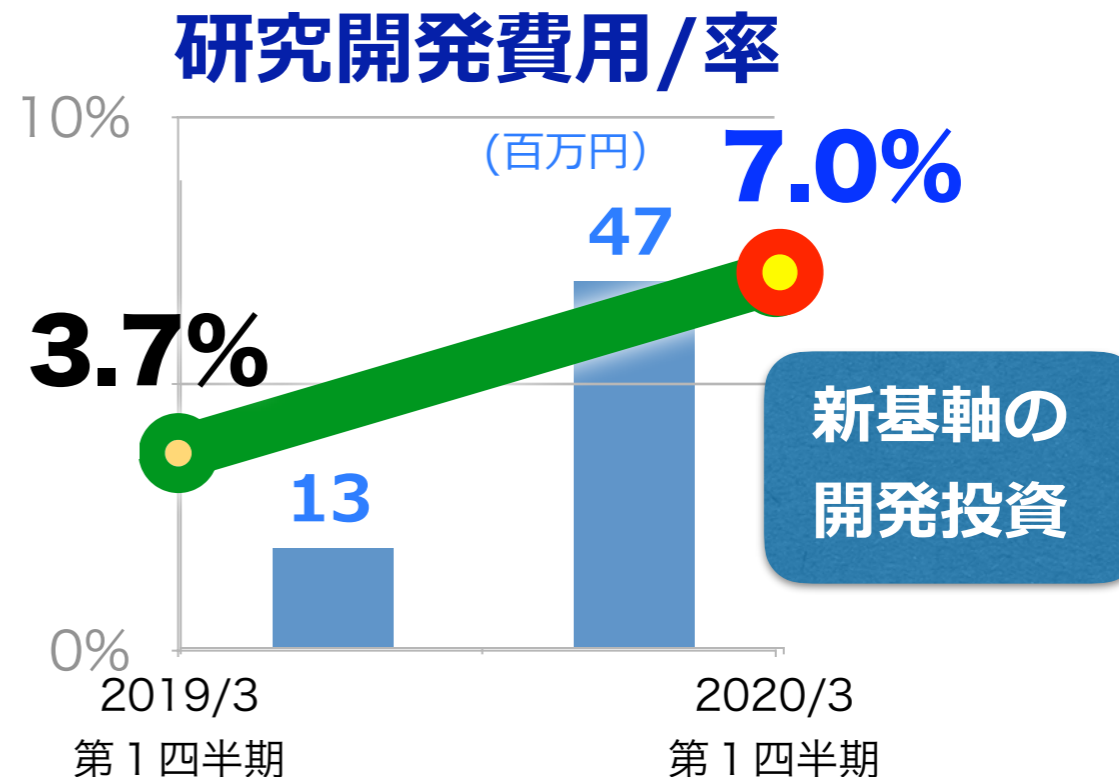
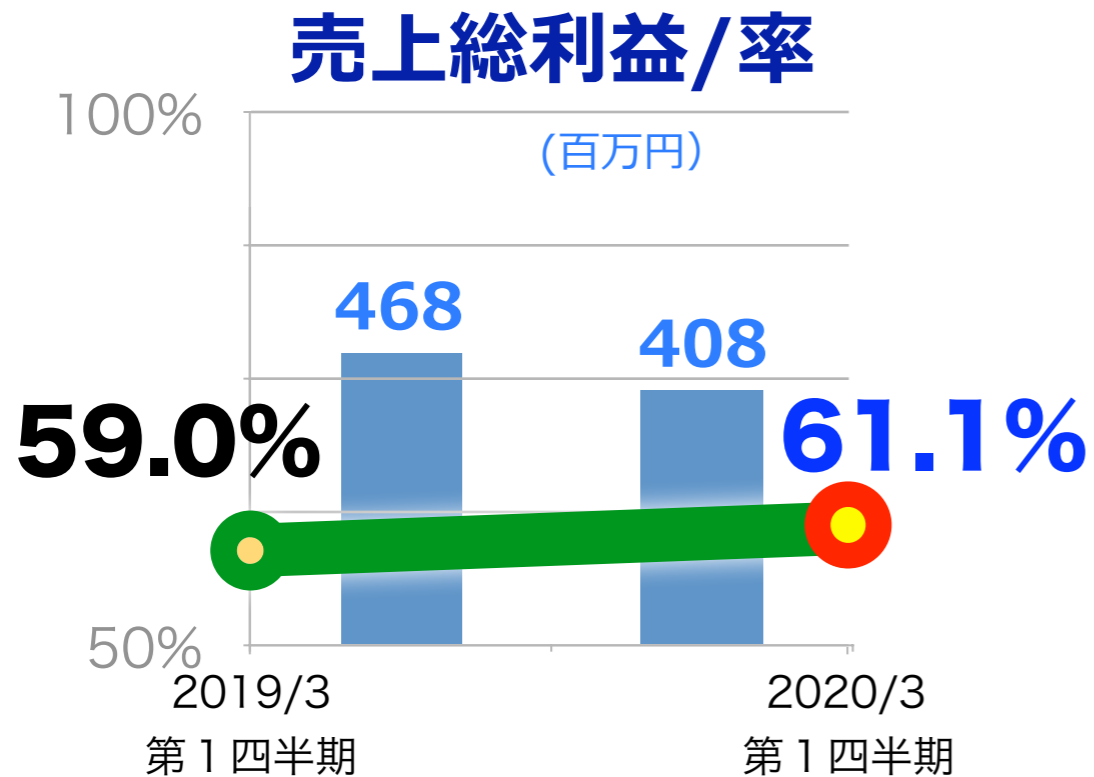


営業利益/税引前利益/当期利益 (親会社の所有者に帰属する)

■ 営業利益以下については特記事項なし。



経営指標の推移 (前年同期比)



財政状態計算書

		2019年 3月31日	2019年 6月30日	増減
資産 の 部	現預金等	3,277	3,387	110
	営業債権	709	413	▲296
	その他流動資産	123	121	▲2
	有形固定資産	191	1,406	1,215
	のれん	1,347	1,232	▲115
	無形資産	144	121	▲23
	投資等その他	1,325	1,622	297
	資産合計	7,117	8,302	1,186
負債 の 部	借入金	100	100	-
	営業債務	92	138	46
	未払法人所得税等	152	68	▲84
	その他流動負債	749	1,093	345
	長期借入金	-	-	-
	その他非流動負債	634	1,819	1,185
負債合計	1,727	3,219	1,491	
資本 の 部	株主資本	5,381	5,157	▲224
	その他資本の構成要素	0	▲111	▲111
	非支配持分	8	38	30
	純資産合計	5,389	5,084	▲306

(単位：百万円)

■ 現預金等

3,387 百万円

■ 自己資本比率

60.8%

✓ 長期借入金：無し
→ 積極的な投資に耐えうる
極めて健全な財務体質

キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュフローは**5億円超**のプラス。
- 今後の戦略的投資に向けて**30億円超**の潤沢な現預金等を有する。

(単位：百万円)	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	▲67	507
投資活動による キャッシュ・フロー	▲16	▲233
財務活動による キャッシュ・フロー	45	▲81
現金及び現金同等物の 期末残高	4,208	3,387

業績予想について

- 第1四半期の減収要因は改善予想のため業績予想は変更無し。

デザインサービス売上の減少

米国の重要顧客2社の経営環境問題に起因し複数プロジェクトが大きく遅延



- ◆ 2019年7月26日に米国司法省がT-MobileとSprintの合併を承認。
- ◆ 通期ではリカバリー予定。
- ◆ 一部プロジェクトが再開。
- ◆ 新規クライアントのプロジェクトを既に開始。
- ◆ 通期ではリカバリー予定。

エンタープライズ、ネットサービスは順調



2020年3月期 第1四半期 決算説明会

お問い合わせは：03-5718-1655

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)